

2014年2月5日  
株式会社ネットワーク

## FortiGateにおけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性について

このたび Fortinet 社が提供する FortiGate 製品にて以下の脆弱性が内在していることが判明しましたので、ご報告させていただきます

### 1. 対象製品

#### 【対象モデル】

FortiGate

#### 【対象 OS】

Ver5.0.5 および、それ以前のバージョン

### 2. 事象

/firewall/schedule/recurrdlg の mkey パラメータの処理に問題があり、以下の条件をみたした場合にクロスサイトスクリプティング攻撃に利用され、ユーザのウェブブラウザ上で任意のスクリプトを実行される可能性があります。

- ・対象 OS バージョンを利用されている
- ・FortiGate の IP アドレスを攻撃者が知っている
- ・FortiGate と攻撃対象端末の間で、管理アクセスセッションが確立されている

### 3. 対策について

アクセス可能な IP アドレスを絞るか下記の修正済み OS バージョンへのバージョンアップが対策となります。

#### 【修正済み OS バージョン】

Ver5.0.6 および、それ以降のバージョン

以上